

楽しかったね！公民館まつり



平成29年11月11、12日の2日間、「育む絆、繋がる絆」をスローガンに公民館まつりが開催されました。公民館の駐車場にはテントが張られ、各団体・グループが、バザー、工芸品販売、食品販売をしました。「いらっしゃい。」「いかがですか？」元気な売り声が飛んでいました。また、イベントをする人は自分たちの活動の周知と、お祭りの盛り上げ役とで準備や運営など、大忙しでした。

館内の方では作品の展示を始め、各コーナー、ステージ発表がありました。1階入り口にはモニターテレビが置かれているので、見たいステージがあればすぐに3階に上がって見ることができるので便利です。

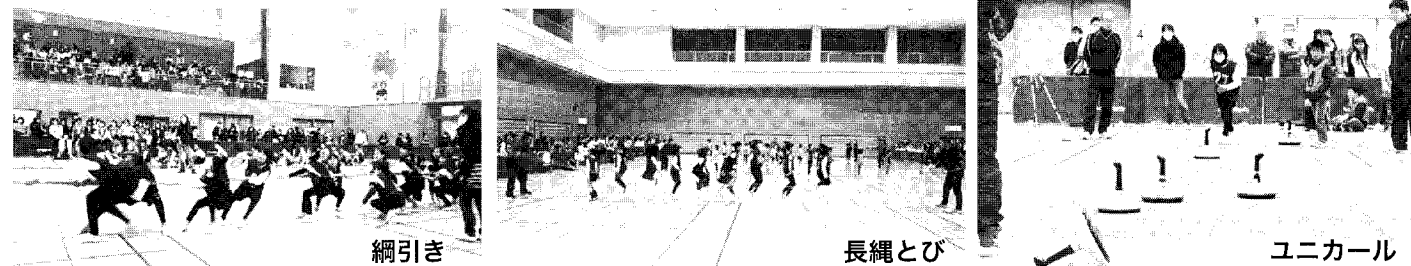
ステージに上がる人は、この日のためにおけいこを積み、作品展示する人は、作品作りに励んでこられたと思います。それぞれご自分のパフォーマンスを発揮され、見に来られた人との交流もありました。

吉島中の生徒さんが作った新聞には、「公民館まつりは楽しかった？」の質問に162人中162人が「YES」と答えています。みんなで盛り上げて誰でもが楽しめる公民館まつりであってほしいと思います。

また、来年も。

広報 尾上 真弓

第18回 冬季体育大会 惜しい!! 吉島学区



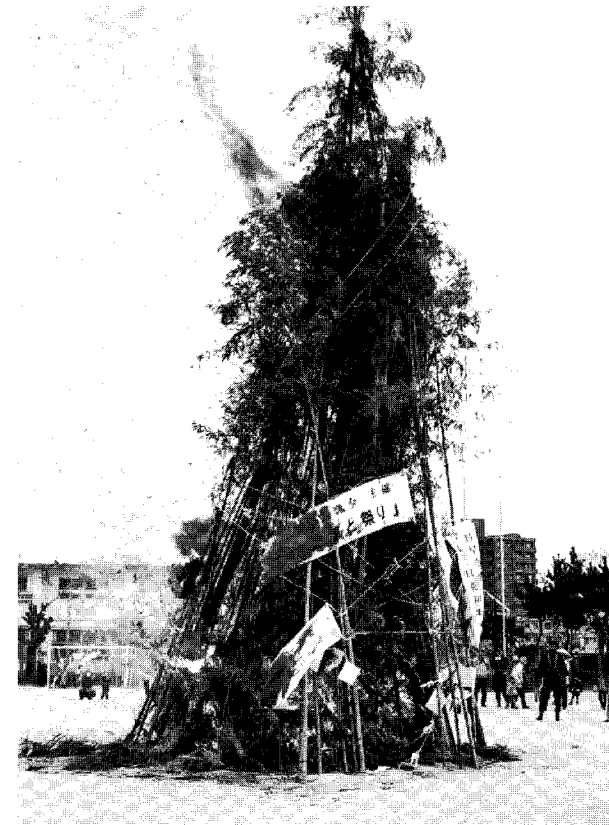
平成30年1月28日（日）に中区スポーツセンターにおいて、第18回冬季体育大会が開催されました。外は雪が舞う中、中区の14学区17チームが参加しました。競技はユニカール、長縄とび、綱引きの3種目。吉島学区の子ども会も10月から毎週土曜日を中心に練習を重ねてきました。当日は緊張もあり思うように結果はだせませんでした。総合11位という結果になりました。残念!!!

来年に向けて新たな闘志を燃やしていきましょう!

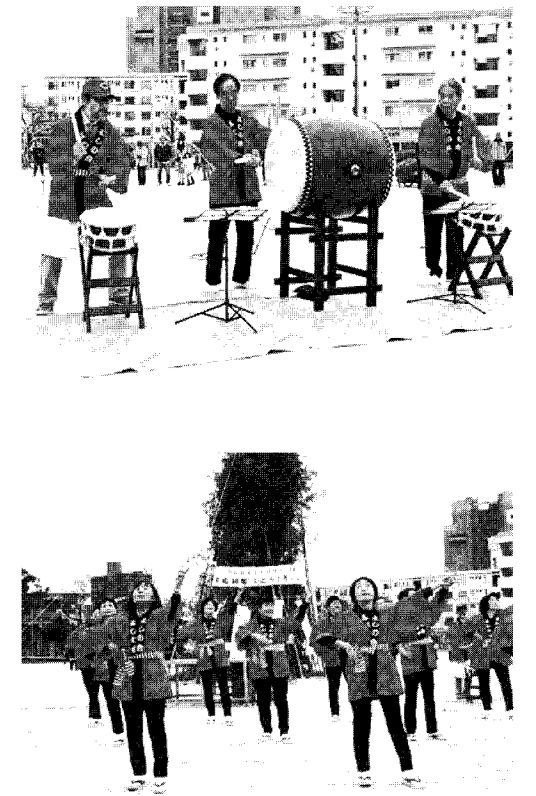
吉島学区子ども会育成協議会 小川 太一

吉島福祉だより

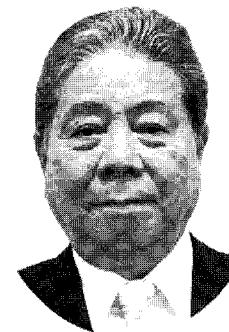
発行 吉島学区社会福祉協議会
 発行責任者 会長 篠原 紀喜
 ☎(082)243-8428
 発行年月日 平成30年3月吉日



とんど祭り



「好きじゃけん! よしじま!!」完成披露



吉島学区社会福祉協議会 会長 篠原 紀喜

穏やかに、成年の年明けを迎えました。今年も皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。引き続き、学区社協の活動のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

1月7日(日)吉島小にて、恒例のとんどまつりが行われました。そこで吉島の応援歌「好きじゃけん! よしじま!!」が披露されました。かねてから、吉島の賑わいづくりには何がいろいろかと検討されてきました。そこで皆さんの知恵を出し合った結果「和太鼓・歌・踊り」ということになりました。

昨年7月から準備開始。補助金の申請をはじめ、歌は作詞作曲を風呂哲洲先生に依頼、機材や備品の購入、和太鼓は田中さんの指導、踊りは尾上さんと女性会の方々の創作など、急ピッチで進みました。歌の歌詞は「吉島」のことをうまく表現できていると思います。吉島の地域の歌として、広く知っていただき、生活の中でも口ずさんでいただき、末永く歌い継がれ、皆さんがいつまでも元気であってほしいと願っています。(2/1号中区報「なか」に掲載されました)

ぼく達の希望をのせて燃えあがれ

道下 蒼空 (6年)
 私は成年なので、とんどに点火をしました。友達とおもちを焼いたり、ぜんざいを食べたりしました。
 私たちの書いた習字が少なく残念でしたが、地域の女性の方々のすてきなおどりがありました。小学校の中心に大きくきれいな赤い炎がまいて、今年の七つの目標も私たちの願いと一緒に燃えあがりました。目標や願いと同じように、今年一年もいい年になるといいです。

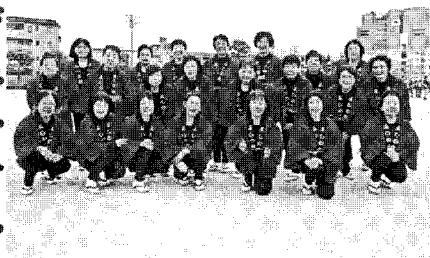


江藤 敦哉 (6年)
 とんどに火がつくと、少しずつ火の勢が強くなっていき大きな音がしました。火が弱まってから、竹の先にもちをつけて焼きました。熱くて難しかったけど、焼いたもちはおいしかったです。とんどで焼いたおもちを食べると、一年健康にすごせるそうです。
 病気をせずに元気で過ごせるといいなと思いました。

ささお 夏りん (4年)
 今年は、竹がなかなかもえなくて、少し残念でした。でも、地域の方のおどりがすごく上手でした。
 ぜんざいも、みんな美味しそうに食べていました。
 いろいろな人たちが協力があったことで、とんど祭りを楽しむことができました。

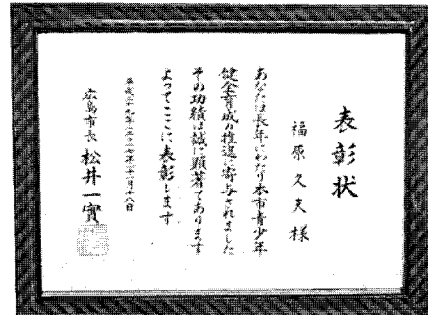


女性会
 今年のとんど祭りは、力強い太鼓の音で始まりました。
 「好きじゃけん! よしじま!!」を初披露。
 参加者の皆さんに歌詞が配布され、一緒に声を出し合唱?...「オー」と元気の掛け声で女性会の有志が「好きじゃけん! よしじま!!」を堂々と踊り、次はいよいよ点火。パチパチ、パーンと竹のはじける音が響き、煙が舞いあがっていきます。
 参加者の皆さんは、冷えた身体を温めてほしいと、飛んでくる灰をよけながらぜんざいを用意している私たちの所まで来られました。一人一人にぜんざいを手渡しました。「ありがとう」「あったまったよ」声を掛けてくださり、その言葉に私たちの心も温まりました。
 今年1年、お一人一人が栄え、光輝く一年でありますように。



広島市青少年健全育成成功労者等表彰

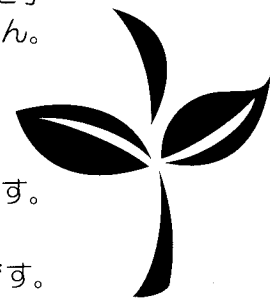
第31回青少年健全育成市民大会が、平成29年11月18日青少年センターで行われました。吉島学区では、青少年健全育成連絡協議会(青少協)会長表彰で、会長1名、役員4名の方が表彰されました。
 代表して会長の福原久夫様にお尋ねしました。福原久夫様は、役員になって10年、会長になって5年の経歴をお持ちです。



—どんな活動をされていますか?
 月2回は夜間の巡回をして、地域の環境浄化、青少年の非行防止の見守りをしています。夜間に子どもたちの姿をあまり見かけることはありません。他にも様々な活動に協力しています。

—今の子ども達の様子は?
 吉島の子ども達は、よく挨拶をしてくれます。中学に進んでも、顔を見れば挨拶をしてくれます。

—最後に何かひと言ありますか?
 「子どもは地域の宝」です。育てるのは地域です。地域で育てていきましょう。



(左から岡山さん、石本さん、篠原さん、富田さん)

子ども食堂へいらっしやい

昨年8月から始まった「子ども食堂」は7回を迎えています。主催は吉島学区民生委員児童委員協議会、他、ボランティアさんにもご協力を得ています。そこで会長の岡山ユリコさんにも活動の様子などを聞いてみました。
 「きっかけは、島根に研修に行った際、子ども食堂の活発な活動を見て、吉島学区でもやってみようと思いました。
 広島市から“チャレンジ応援”助成事業の支援を受けることができました。子どもたちは、喜んで食べてくれます。
 美味しいものを皆でワイワイおしゃべりしながら食べると、自然に笑顔になります。私たちも中に入っておしゃべりすると、とても楽しいです。
 勉強や工作もあります。月に1度開いていますので、お友達を誘ってどんどん来てくださいね。」とのことでした。

